

	構成要素	系統性	構成要素と学習指導要領解説とのつながり		
A 課題を設定し解決しようとする力	<p>1. 社会とのつながりを意識した必然性のある課題を設定できる</p> <p>2. 基礎・基本の学習を課題解決に活かせる</p> <p>3. 好奇心・探究心・意欲をもって取り組める</p>	<p>Lv1:人や自然との関わりの中で体験したことから課題を発見できる。 Lv2:地域社会と関わることを通じて課題を発見できる。 Lv3:社会問題の中から自分に関わりのある課題を発見できる。 Lv4:社会問題の中から多くの人にとって必然性のある課題を設定できる。 Lv5:グローバルな視点をもって、多くの人にとって必然性のある課題を設定できる。</p> <p>Lv1:文章を読み取ったり、絵や写真から考えたりする学習を活かすことができる。 Lv2:グラフを含む事典・図書資料で調べたり、身近な人に取材したりする学習を活かすことができる。 Lv3:アンケート調査の結果を表やグラフで表したり、傾向を解釈する学習を活かすことができる。 Lv4:独自の調査を含め、情報の収集方法を選んだり、組み合わせたりする学習を活かすことができる。 Lv5:様々な方法で収集した情報を整理・比較・分析・考察する学習を活かすことができる。</p> <p>Lv1:何事にも興味をもって取り組むことができる。 Lv2:自分が見つけた疑問を、すすんで探究することができる。 Lv3:課題に対して、相手意識・目的意識を持って主体的に取り組むことができる。 Lv4:社会生活の中から課題を決め、相手意識・目的意識をもち、主体的に取り組むことができる。 Lv5:課題解決に向けて自ら計画をたて、相手意識・目的意識を持って主体的に取り組むことができる。</p>	<p>◆課題を設定する 国語:課題を決める、課題を設定する、課題を解決する 社会:課題を踏まえる、課題を解決する 算数:課題を踏まえる、課題をとらえる、課題を解決する 理科: 総合:課題を見つける、課題を解決する</p> <p>◆社会とのつながり 国語:家庭、地域での経験、興味や関心をもっていること 社会:国民生活との関連、他の国とのつながり 算数:進んで生活や学習に活用する 理科:生活との関連、情報との関連 総合:日常生活や社会に関わる課題と自分とのつながり 情報と関連付け</p>	<p>◆解決に活かす 国語:録音や録画の機器を積極的に活用する 本や文章、図表、絵画、写真、具体物などの資料を活用する 社会:基礎的・基本的な知識、概念や技能を習得し、活用する 各種の基礎的資料を効果的に活用する 算数:生活や学習に活用する 目的に応じて表やグラフを選び、活用する 理科:映像や模型などを活用する 数、式、図、表、グラフといった数学的な表現方法を活用する シミュレーションや映像、図書などの資料を活用する 総合:状況に応じて自在に活用する 情報を適切に処理し活用する 各教科で獲得した表現方法を積極的に活用する</p>	<p>◆興味をもって取り組む 国語:自分の経験や問題意識との結びつけ 社会:自らの興味・関心や問題意識に基づく 算数:身の回りから関係するものを見つける活動 理科:興味・関心をもって追究する 総合:主体的、創造的、協同的に取り組む</p>
B 制作物の内容と形式を読み解く力	<p>1. 構成要素の役割を理解できる(印刷物:見出し、本文、写真等 映像作品:動画、音楽、テロップ等)</p> <p>2. 映像を解釈して、言葉や文章にできる(映像:写真・イラスト・動画等)</p> <p>3. 制作物の社会的な影響力や意味を理解できる</p>	<p>Lv1:制作物を見て、複数の要素で構成されていることを理解できる。 Lv2:制作物を見て、それぞれの構成要素の役割を理解できる。 Lv3:制作物を見て、構成要素の組み合わせ方が適切に判断できる。 Lv4:制作物を見て、構成要素を組み合わせることによる効果を理解できる。 Lv5:制作物を見て、送り手がどのような意図で要素を構成したのか理解できる。</p> <p>Lv1:映像を見て、様子や状況を言葉で表すことができる。 Lv2:映像の内容を読み取り、言葉や文章で表すことができる。 Lv3:映像の目的や意図を自分なりに読み取り、言葉や文章で表すことができる。 Lv4:映像の目的や意図を客観的に読み取り、言葉や文章で表すことができる。 Lv5:映像の目的や意図を様々な角度から読み取り、言葉や文章で表すことができる。</p> <p>Lv1:制作物には、人を感動させる魅力があることを理解できる。 Lv2:制作物には、正しいものと誤ったものがあることを理解できる。 Lv3:制作物には、発信側の意図が含まれていることを読み取ることができる。 Lv4:制作物について、他者と自己の考えを客観的に比較し、評価することができる。 Lv5:制作物の適切さについて批判的に判断することができる。</p>	<p>◆構成要素の役割の理解 国語:編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読む 疑問を調べて、報告する学級新聞などに表す 文章と図表等の資料とが密接に関連をもつことを意識する 社会:根拠や解釈を示しながら図や文章などで表現し説明する 算数:事象の中に含まれる数、量、図形などの要素に着目する 理科:図や絵などを用いて表現するなどして考察する 総合:収集した情報はグラフ化して統計処理する</p>	<p>◆解釈したことを言葉や文章にする 国語:事実と意見との関係に注目する 図表や絵、写真等の資料から読み取ったことを言語化する 社会:根拠や解釈を示しながら図や文章などで表現し説明する 算数:資料の特徴や傾向を読み取り、説明する 理科:グラフなどを活用しつつ、科学的な言葉や概念を使用する 総合:分析したことを文章やレポートに書いたり、口頭で説明する インタビューから言語化された情報を得る 数値化した情報と言語化した情報を扱う</p>	<p>◆社会的な影響力や意味の理解 国語:本や文章を比べて読むなど、効果的な読み方を工夫する 書き手の意図を推論したり、自分の意図に応じてまとめる 筆者の意図や思考を想定しながら文章の構成を把握する</p> <p>社会:情報産業が及ぼす影響を理解する 情報を提供している産業と国民生活とのかかわりを調べる</p> <p>算数: 理科: 総合:情報が日常生活や社会に与える影響を考える 情報の収集方法について、実際に体験しながら習得する 伝えることを論理的に表現することで、考えを確かにする</p>
C 表現の内容と手段を吟味する力	<p>1. 柔軟に思考し、表現の内容を企画・発想できる</p> <p>2. 目的に応じて表現手段の選択・組み合わせができる</p> <p>3. 根拠をもって映像と言語を関連づけて表現できる</p>	<p>Lv1:自分の経験や身近な人から情報を得て、伝えるべき内容を考えることができる。 Lv2:身近な人や図書資料から得た情報を整理し、伝えるべき内容を考えることができる。 Lv3:身近な人や統計資料から得た情報を整理・比較し、伝えるべき内容を考えることができる。 Lv4:様々な情報源から収集した情報を整理・比較して、効果的な情報発信の内容を企画・発想できる。 Lv5:様々な情報を結びつけ、多面的に分析し、情報発信の内容と方法を企画・発想できる。</p> <p>Lv1:相手に応じて、絵や写真などの言語以外の情報を加えながら伝えることができる。 Lv2:相手や目的に応じて、図表や写真などの表現手段を選択することができる。 Lv3:相手や目的に応じて、図表や写真などの表現手段を意図的に選択することができる。 Lv4:相手や目的に応じて、多様な表現手段を意図的に組み合わせることができる。 Lv5:情報の特性を考慮し、相手や目的に応じて、多様な表現手段を意図的に組み合わせることができる。</p> <p>Lv1:他者が撮影した映像をもとに、自分の経験を言葉にして表現できる。 Lv2:自分が撮影した映像をもとに、取材した内容を言葉にして表現できる。 Lv3:自分が撮影し取材した情報を編集し、映像と言語を関連づけて表現できる。 Lv4:自分が撮影し取材した情報を編集し、明確な根拠に基づき映像と言語を関連づけて表現できる。 Lv5:映像と言語の特性を考慮して、明確な根拠に基づき効果的に関連づけ、作品を制作できる。</p>	<p>◆情報を整理する・比較する 国語:メモを活用して内容を整理し相互関係を考える 個人や班の意見の共通点や相違点を整理し、集約する 出来事や行動、情報などの順序に沿って整理する 社会:特徴を比べたり類似点や相違点を整理する 調べたことを時間の経過に沿って整理する 種類別に分類・整理する 算数:身の回りにある数量を分類整理する 順序よく表などに整理する 資料を二つの観点から分類整理する 理科:実験の結果を表などに分類、整理する 生物と環境とのかかわりを整理し理解できるようにする 総合:多様な情報を収集し、整理・分析する 情報を収集・整理・発信する</p>	<p>◆表現手段の選択・組み合わせ 国語:報告する文章を書いたり、学級新聞などに表したりする 社会:多様な表現で調べたり考えたことを分かりやすく伝える 情報手段の活用を通して、多様な表現方法を身に付ける 算数:相互関係を図や式に表し、説明する 理科:情報の交換や説明したりする手段として情報機器の利用 図や絵などを用いて表現するなどして考察する</p> <p>総合:FAX,PC,インターネットなどの情報手段を活用する 調査結果をレポートや新聞、ポスターにまとめる 写真やグラフ、図等を使ってプレゼンテーションする 相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、表現する</p>	<p>◆映像と言語の関連付け 国語:資料を提示しながら説明や報告をする 意見を述べた文章や解説の文章などを利用する 図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話す・聞く 引用したり、図表やグラフなどを用いて自分の考えを書く 社会:比較・関連 付け・総合しながら再構成する 考えたことを自分の言葉でまとめ伝え合う 算数:図で表現し、言葉による説明も加えて表現する 言葉、数、式、図を用いたりして考え、説明する 理科:表 やグラフ等を活用し、科学的な言葉や概念で説明する 映像や模型などを活用しながら推論する 総合:調査結果をレポートや新聞、ポスターにまとめる 写真やグラフ、図などを使ってプレゼンテーションする</p>
D 相互作用を生かす力	<p>1. 建設的妥協点を見出しながら議論して他者と協働できる</p> <p>2. 制作物に対する反応をもとに伝わらなかった失敗から学習できる</p> <p>3. 他者との関わりから自己を見つめ学んだことを評価できる</p>	<p>Lv1:相手の考え方の良さや共感できる点を相手に伝えることができる。 Lv2:それぞれの考えの相違点や共通点を認め合いながら、相談することができる。 Lv3:自他の考えを組み合わせながら、集団としての1つの考えにまとめることができる。 Lv4:目的を達成するために自他の考えを生かし、集団として合意を形成できる。 Lv5:目的を達成するために議論する中で互いを高めあいながら、集団として合意を形成できる。</p> <p>Lv1:相手の表情や態度などから、思ったとおりに伝わらない場合があることを理解できる。 Lv2:相手の反応を受けて、どのように伝えればよかったか理解できる。 Lv3:相手の反応を受けて、次の活動にどのように活かそうかと具体案を考えることができる。 Lv4:相手の反応から、映像や言語における文法を身につける必要性を理解できる。 Lv5:相手の反応から、文化や価値観を踏まえた表現の必要性を理解できる。</p> <p>Lv1:他者との関わり方を振り返り、感想を持つことができる。 Lv2:他者との関わり方を振り返り、相手の考え方や受け止め方などについて、感想を持つことができる。 Lv3:他者との関わり方を振り返り、自己の改善点を見つめ直すことができる。 Lv4:他者との関わり方を振り返り、自分の関わり方を評価し、適宜改善することができる。 Lv5:他者との関わり方を振り返り、自分の個性を活かすために自己評価できる。</p>	<p>◆他者と議論する 国語:合意形成を図ることや、互いを理解し合い交流 グループで話し合って考えを一つにまとめる 社会:ポスターなどを活用し具体的な取組や必要性等を話し合う 算数:言葉、図、表、グラフ等を用いて分かりやすく伝え合う 理科:実験し、結果を整理し、相互に話し合う 表・グラフ等を活用し科学的な言葉や概念を使い説明する 総合:物事の決断や判断を迫られるような話し合いを行う</p>	<p>◆伝わらなかった失敗から学ぶ 国語:話の内容が相手に伝わるような工夫をする 考えが伝わるように話す内容を整理し、話し方に注意する 理由の説明、エピソードを挙げ、図解したりする 社会:考えたことを自分の言葉でまとめ伝える 互いに発表し考えたことを伝え合う 算数:資料の特徴を説明したり、主張したいことを伝える 言葉、数、式、図、表、グラフを用いて考えたり、説明する 理科:予想や仮説を振り返り、それらを見直し、再検討を加える 総合:常に自己との関係で見つめ、振り返り、問い続ける 学習活動を振り返り、既知知識と関連させ、整理する 学習の仕方や進め方を振り返る</p>	<p>◆学んだことを評価する 国語:よいところを見つけて感想を伝え合う 説明や報告を聞いて、感想を述べる ものの見方や考え、生き方などを見つめ直す 社会:正しい判断の必要性などについて考えをまとめる 算数: 理科:自らの考えを絶えず見直し、検討する 総合:異なる意見や他者の考えを受け入れる</p>